

テーマ ③: 移住・定住施策の推進

全国同様に三木市においても人口減少が続いており、特に若者の転出超過が大きな課題となっています。移住・定住施策を推進する中で、受け入れ体制を整えるとともに、市の魅力を語れる人を増やしていくことで、転入増加、転出抑制につなげていきたいと考えます。

(1) 現状

これまでの取組(若者・子育て世帯への支援制度)

- ・定住促進事業・・・40歳未満の夫婦の住宅取得の固定資産税等の一部を助成。
(所得期間:平成25年1月2日～30年1月1日、一般住宅3年間、長期優良5年間)
- ・若者・子育て世帯住宅取得応援事業【転入者対象】(平成29年4月～)
- ・若者・子育て世帯住宅リフォーム支援事業【転入者対象】(平成29年4月～)
- ・三木市移住定住プロモーション動画作成、放映。
 - 市の魅力を盛り込んだ歌詞によるオリジナルダンス動画「キミもミキになる」を作成、ケーブルテレビや映画館、ミント神戸での街頭ビジョンで放映。
- ・子育て支援施策の充実
 - 中学3年生までの乳幼児等医療費の無料化※所得制限なし(平成28年1月～)
 - 保育料の3～5歳までの完全無償化、0～2歳児の所得制限を撤廃した50%軽減(平成29年度～) ※平成25年度から段階的に軽減を実施。
 - 子育てキャラバンの実施、病児病後児保育室の設置
 - チャイルドシートの無料貸し出し など

(2) 課題

- ・充実した子育て支援をはじめとした施策の効果的な情報発信。
- ・移住希望者の受け入れ体制(窓口・情報管理)の構築。
- ・助成や支援施策の充実だけでは、近隣市とのサービス合戦となる。まちの魅力そのものの向上。
- ・移住希望者が住まいを探す際に同時に必要となる「しごと」情報の提供。
(有効求人倍率が低く、求職者数割合が高いことなど、雇用機会が不足)
- ・移住施策による転入者数の増加など、事業成果の把握方法。

(3) 現在検討している「移住・定住促進事業」

移住定住に特化した情報発信、相談体制、紹介業務(住居、仕事、暮らし)などを一元化した部門を設け、市民参画による受入体制の構築を進める。

■移住受入総合窓口の強化

(移住促進PR隊、移住相談窓口の一元化、お試し居住モデル実施)

■ターゲットを絞った認知獲得

(ミント神戸のビジョン等を活用したPR動画放映、移住促進イベント出展)

■移住者を応援する気運醸成

(市内こども園等への移住定住パンフレット配布など)

※参考資料 別紙のとおり

(4) 論点

○情報発信

- ・ 市の検討案の追加・変更が必要な内容について
- ・ 三木市は神戸に隣接した田舎。三木市は田舎ぐらしを押しには弱い中で、まちの売りとして何を、誰に対し(ターゲット)、どのように発信していくべきか。

○受け入れ体制

- ・ 市の検討案の追加・変更が必要な内容について
- ・ 効果的な受け入れ体制

○雇用とのマッチング

- ・ 市内求人事業者と就職、転職希望者とのマッチング方策について。

○その他(評価・検証)

- ・ PDCAを実施する中では、移住施策による事業成果の評価が必要となるが、どのような成果指標を設けるべきか。